# 施策評価調書(26年度実績)

		W-77747			施策コード Ⅲ-	2-(3)
政策体系	施策名	県民スポーツの振興	所管部局名	教育庁	長期総合計画頁	129
以來体示	政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	関係部局名	教育庁、企画振興部、福祉保健部		

## 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	1	2	3
取組項目	県民スポーツの推進基盤の整備	競技スポーツの振興	スポーツ文化の定着

## 【Ⅱ. 目標指標】

指標		関連する 取組No.	基準値		26年度		27年度	目標達成度(%)					
	7日 1宗		年度	基準値	目標値	実績	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	総合型地域スポーツクラブの創設数(クラブ)	1	H16	14	65	42	64.6%	75					
ii	県民すこやかスポーツ祭の参加者数(人/年)	1	H17	7,221	13,395	10,626	79.3%	14,081					
iii	プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数(人/年)	3	H22	14,599	18,500	10,725	58.0%	18,500					
iv	プロスポーツチームの県内小学校などの訪問箇所数 (箇所/年)	3	H22	187	245	223	91.0%	260					

【Ⅲ 指標による評価】

【単、月1年である。日間						
評価		理由等	平均評価			
i	著しく 不十分	県内全市町村に総合型地域スポーツクラブを育成するという国の指標を既に達成しており、そのことが育成の鈍化に繋がっていると考えられる。今後は、旧市町村において総合型地域スポーツクラブがない地域を優先に、地域住民や行政への説明会を開催するなど、創設支援を図っていく。				
ii	著しく 不十分	会期を1月間延長したことにより、実施大会数が18増え、参加者は8,717人(25年度)から10,626人に増加したものの、目標には達しなかった。今後は、総合型地域スポーツクラブ等との連携による実施団体の拡大、広報の充実に取り組み、さらなる参加者の増加を図る。				
iii	著しく不十分	平均観客動員数の最大の要素である大分トリニータのホーム戦観客数がJ2降格以降低落傾向にあり、達成に至らなかった。各チームでは、引き続き魅力あるチームづくりや県民との交流により観客増への取り組みに努めていく。なお、県では、県内プロスポーツに加え、キリンチャレンジカップ(観客動員数34,777人)や東アジアハンドボールクラブ選手権(27年度)の開催など、県民がスポーツを楽しむ環境づくりに取り組んでいる。	著しく不十分			
iv	概ね 達成	プロスポーツチームがそれぞれ独自に地域貢献活動に取り組んだ結果、概ね目標を達成した。				

#### 【Ⅳ. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価					
1	<ul> <li>総合型地域スポーツクラブ会員総数が、前年から476人増の16,090人となった。</li> <li>13クラブが法人化し、うち2クラブは指定管理を受託した。</li> <li>全市町村で種目別大会(32種目)を実施した。</li> </ul>					
2	・国体で前年と同数の21競技において得点を獲得し、優勝数は 前年を4上回る9競技となるなど、競技力向上対策の成果は着実 に現れている。					
3	・大分スポーツ公園利用者は、"観るスポーツ"、"するスポーツ" あわせて125万人を超えており、施設の充実によるスポーツ文化 の定着が図られてきている。					

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

	: 旭米と時次/も工女子木1					
取組	事業名(26年度事業)	事業コスト	事務	主要な施策の		
No.	争未有(20年度争未)	(千円)	総合評価	27年度の方向性	成果掲載頁	
1	地域生涯スポーツ振興事業	8,634	O	継続・見直し	217	
	未来のアスリート発掘・育成事業	15,543	В	終了	218	
2	チーム大分強化事業	172,843	С	継続・見直し	219	
	スポーツ大分パワーアップ事業	122,000	С	継続・見直し	220	
3	緊急雇用プロスポーツを活用した地域・人づくり推 進事業	28,952	Α	継続・見直し	24	

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

〇平成26年度新大分県総合教育計画フォローアップ委員会(H26.7)

・中学校の小規模校化が進み、運動部が公式戦に単独で参加できない状況が増えていると聞く。小規模校の合同チームや、総合型地域スポーツクラブが公式戦に出場できるようにするなど、今後は柔軟な対応を検討すべきである。そういったことが、結果的にスポーツ振興につながるのではないか。

〇平成26年度第1回大分県スポーツ推進計画フォローアップ委員会(H26.7) 「する」スポーツが中心となっているが、「みる」「支える」視点も必要。

### 【Ⅵ. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容					
С	・特に総合型地域スポーツクラブ未育成地域のある市町村において、地域住民等を対象に新規創設及び既設クラブのエリア拡大に向けた説明会(普及啓発活動)を積極的に実施する。 ・既設総合型地域スポーツクラブや総合型クラブおおいたネットワークに対する事業を通して各種の支援を行うことにより、総合型地域スポーツクラブの充実・発展を図る。 ・県民すこやかスポーツ祭は、既存の種目別大会のさらなる拡大を図るとともに、県民のニーズに応じた種目を取り入れるなど、様々な世代が気軽に参加できるよう内容の充実を図る。 ・チーム大分強化事業では、競技団体の強化指導体制を再構築するため、27年度から対象となる強化選手を小学生・中学生まで拡大する。あわせて各競技の普及・振興を推進し、安定的な競技力の維持・向上を図る。 ・選手による学校訪問など地域に密着した取り組みを推進することで、プロスポーツチームをより身近に感じ、チーム成績に係わらず地元チームを応援する気運が醸成され、高度で質の高いスポーツを観る機会が増え、スポーツ人口の拡大が期待される。					